



2022年9月27日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 L i b W o r k
代 表 者 名 代表取締役社長 瀬口 力
(コード番号：1431 東証グロース・福証 Q-Board)
問 合 せ 先 責 任 者 執行役員経営企画室長 難家嘉之
(TEL. 0968-44-3559)

カーボンニュートラル宣言および達成に向けた取組について

当社は、地球環境及び地域の持続可能性向上に向け、2030年までに自社事業活動で排出するCO₂排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを達成することを宣言いたします。

1. 宣言に至った経緯

気候変動への取組は世界規模で加速しており、脱炭素社会の実現に向けた機運が高まる中、当社は2022年9月にTCFD提言への賛同を表明しました。自社の事業活動による排出量の削減に加え、サプライヤーやお客様、地域と一体となりカーボンニュートラル達成に向けて取り組んで参ります。

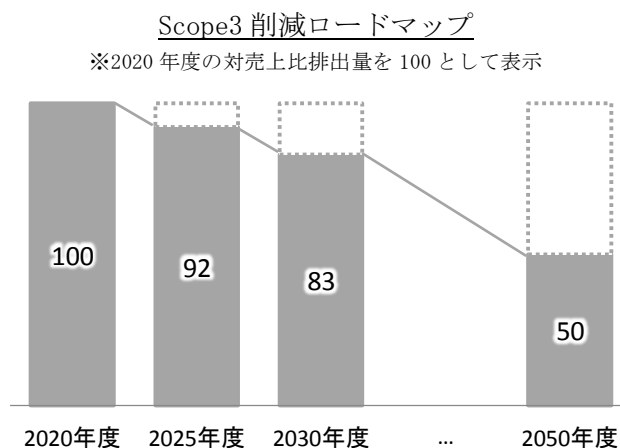
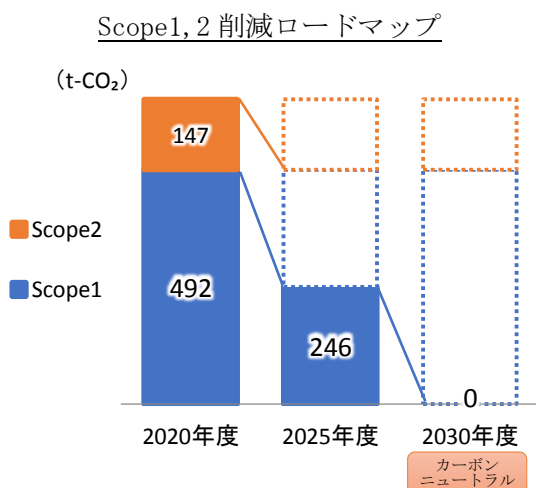
	達成年度	CO ₂ 排出量 (2020年度) 単位：t-CO ₂	削減目標 (2020年度比)
Scope1	2030年度	492	▲100%
Scope2	2025年度	147	▲100%
Scope3	2050年度	69,417	▲50% ※対売上比

【CO₂排出量の算定範囲について】

Scope1：自社の燃料使用に伴う直接排出（主にガソリン）

Scope2：他社から共有されたエネルギーの使用に伴う間接排出（主に電気）

Scope3：商品・サービスの購入やサプライチェーン全体の間接排出



【達成に向けた具体的な取組】

●EV車への転換：社用車からのCO₂排出量削減

現在、営業等で使用している社用車の大半がガソリン車となっており、2020年度のScope1の排出量は492t-CO₂となっております。当社の総排出量に占める割合は低いものの、2030年度までにScope1の排出量をゼロにするという目標を達成すべく、営業車における電気自動車の導入を段階的に進めます。当社の営業車は社員所有車輛を借り上げる方式としており、社員に対する「EV手当の導入」も開始し、社員の意識醸成も図ります。

●再生可能エネルギー電力の調達

当社の事業活動で使用する電力由来の2020年度CO₂排出量は、147t-CO₂となっています。事業活動に使用するすべての調達電力を100%再生可能エネルギーへ切り替えることで2025年度までにScope2の排出量ゼロを目指します。

●住宅のカーボンフットプリントの明示及び削減

当社は自社が提供する住宅の資材調達から解体に至るまでのライフサイクル全体を通じて排出された二酸化炭素の把握に取り組んでいます。今後、天然素材・長寿命素材の使用等を推進し、カーボンフットプリントの削減を通じて「サステナブルな家づくり」を推進します。

●ZEH及び太陽光発電（Lib Work Solar Free）推進による施工物件の省エネ化

当社は2021年3月、株式会社グリムソーラーと連携し、太陽光発電システムの導入費用が無料となる「Lib Work Solar Free」を商品化しました。当社が新築で施工販売する全てのお客様を対象としたスマートハウスの導入を一層加速し、地域・ステークホルダーと一体となったZEH、省エネ化に取り組めます。

「LibWork Solar Free」のしくみ

サービス終了までグリムソーラーが太陽光発電設備の所有者となります。
設置費用に対するお客様のお支払いは余剰電力の売電収入により支払いとなりますので実質お客様負担0円となります。

- 1 屋根に太陽光発電を設置** お客様宅の屋根にグリムソーラーが太陽光発電設備を**無償**で設置します。
- 2 発電電力を設置費として売電** 発電した電気をグリムソーラーが、売電する事で設置費を回収します。自宅で消費する分については、**26円/kWh**でグリムソーラーからご購入いただけます。(11年目以降は0円)
- 3 15年後に太陽光発電をもらう** サービス(契約期間)終了後に太陽光発電を無償譲渡致します。発電メリットはお客様のものとなります。グリムソーラーから蓄電池購入の場合は**10年で譲渡**致します。

<太陽光発電設置割合>

2020年	2025年	2030年
21.2%	50%	80%

<ZEH割合>

2021年	2025年	2030年
24.2%	50%	80%

2. 業績に与える影響

2023年6月期の業績予想に与える影響は軽微と考えます。今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせします。

以上